



ハートがふれあう住民自治のまち

議会だより

かみかわ



神河町
マスコット
キャラクター
「カーミン」

第56号

平成30年7月17日



神河ヒルクライム



議案審議の様子 2 ~ 4

委員会の活動 4 ~ 8

7人が登壇 いっぱん質問 9 ~ 15

ノンステップバスの導入可決



ノンステップバスの概要

多くの住民の皆様の要望により、ノンステップ型コミュニケーションバスの導入が可決されました。

このバスはユニバーサルデザイン（障がい者を含む全ての方が使いやすい仕様）になっており、乗る人一人ひとりにやさしい設計となっています。ドアが開くと地面から高さ26センチまでステップが下がり、高齢者の方も乗り降りしやすく、スロープ板も取り付けることができますので、車いす、ベビーカーの乗り降りがスムーズにできます。室内は段差のないフルフラットフロアで移動しやすく、車いす用の固定

第85回定例会は、6月15日から27日までの13日間の会期で開催されました。各委員会報告、諸報告に続き、町から報告3件、人事案件1件、条例の制定及び改正3件、規約の一部変更1件、工事請負契約2件、財産の取得1件、補正予算7件の計18件が提案され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決しました。

また、一般質問は、7人の議員が行いました。今回は改選後初めての定例会でもあり、多くの皆さんの傍聴がありました。

装置もあります。議会最終日の可決後に発注となり、町への納車は平成31年3月8日の予定です。

契約金額は2067万5000円余、車種は小型の日野ポンチョで椅子席が12座席、立ち席は21人です。

もっと早く納車されないかとの意見もありますが、この車種を生産している会社が少なく、受注生産であるため、日数がかかるということです。



新しく購入されるノンステップバス

中央公民館の空調が新しくなります

平成7年に建設された中央公民館が今年で23年目になり、二酸化炭素削減の施策の一環として、空調、電気などの改修工事が実施されます。

契約金額は1億6956万円です。

照明関係では効率のよいLED照明を取り入れ、空調も最新のヒートポンプ式になり、経費の削減につなげていきます。

ホール客席の前後でエアコンの温度差があり、前方の客席は寒いという意見がありました。今回の改修でそれも改善されるということです。

換気設備では空気の流れを効率的に行う循環用ファン、エアカーテンなども取り入れられます。

この改修事業の耐用年数は事業上15年とのこと、長期間取替しなくてもよい直管型LED照明、LEDダウンライトへ改修されます。

工事期間は6月27日から来年の1月31日までとなつていきます。部分工事から改修できたところから使用可能とのことですが、工事にかかる部屋は使用できません。サークル活動等はしばらく他の施設での開催となります。

光ブロードバンド施設の提供に関する条例制定の件

インターネットの利用環境が改善されます。各家庭まで光ケーブルでつながるので、従来の10Mbpsから1000Mbpsの速さになり、計算上は100倍速くなります。

ケーブルテレビネットワークワーク設置条例の一部を改正する条例制定の件

ケーブルテレビ事業の指定管理制度導入に向け、条例の一部を改正します。

加入者の方には、順次宅内工事が実施されます。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の件

国民健康保険は町管轄から県管轄の広域行政（共同運営）となり、あわせて所得割、均等割、平等割額の改正、資産割の廃止などが改正され、本年度以降に実施されます。

町営住宅柏尾団地建替工事請負契約の件

柏尾団地は築32年が経過しており、建て替え工事入札が6月1日に行われました。2戸併設の5棟で、10戸分の新築になります。

場所は柏尾の旧パチンコ店跡地で、平成31年2月22日の完成予定で、4月から入居可能です。町

内産の木材を使い、木造2階建て、瓦葺きで、窓は複層ガラス、オール電化仕様など近代的な作りの設計となっています。

工事契約金額は2億7972万円、新築となりますので、家賃は今より少し高くなりますが、現在柏尾団地に居住の方が優先されます。

兵庫県市町交通災害共済組合規約の一部変更について

この組合は7市12町で構成されていますが、昭和43年に66町で開始、加入率が60%の時もありましたが、現在22%台になっています。開始当時は民間保険も少なく、その目的が5000円の安い掛け金で達成されていました。現在低迷しているため、共済期間を平成31年度までとし、33年度をもって組合が解散されます。

平成30年度神河町一般会計補正予算（第2号）

今回の補正では、歳入歳出それぞれ6317万9000円の追加があり、総額を100億6557万9000円とするものです。

内容は、4月人事異動による人件費、空き家支援対策費、WiFi整備費、集落公園整備費、町単独土地改良費、旧又右衛門の跡地利用対策費、越知谷小学校電話機修理費、ワールドマスターズゲームズオリエンテering1000日前イベントにかかる費用などの補正予算計上です。

議案等の審議結果

◆全員賛成で可決・承認した議案等◆

報告番号	件名
第5号	平成29年度神河町一般会計予算繰越明許費に係る繰越計算書の報告の件
第6号	平成29年度神河町下水道事業会計予算に係る繰越計算書の報告の件
第7号	平成29年度兵庫県町土地開発公社の事業報告の件

議案番号	件名
第53号	中播公平委員会委員の選任の件
第54号	神河町光ブロードバンド施設の提供に関する条例制定の件
第55号	神河町ケーブルテレビネットワーク設置条例の一部を改正する条例制定の件
第56号	神河町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の件
第57号	兵庫県市町交通災害共済組合理約の一部変更について
第58号	町営住宅柏尾団地建替工事請負契約の件
第59号	平成30年度神河町一般会計補正予算(第2号)
第60号	平成30年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
第61号	平成30年度神河町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
第62号	平成30年度神河町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
第63号	平成30年度神河町水道事業会計補正予算(第1号)
第64号	平成30年度神河町下水道事業会計補正予算(第1号)
第65号	平成30年度公立神崎総合病院事業会計補正予算(第1号)
第66号	神河町中央公民館空調設備等改修工事請負契約の件
第67号	神河町コミュニティバスの取得の件

人権教室での作文は大変すばらしいものであり、町内全ての小中学校で発表して、人権に対する考え方や想いを共有してはどうかとの委員からの意見・提言がありました。また、いじめ等に関する報告では、昨年度小学校で43件、中学校では7件と前年度比で微増しましたが、これは些細なものまで報告せよとの県の指導によるものです。本人通知制度では、5月7日現在で、登録者数は627人、本人通知数は162件です。登録者は前年度比43人の増加で、市川町の1人増や福崎町の2人増と郡内でも差異があり、委員からは登録者数の更なる増加を図る

人権文化推進特別委員会

5月15日開催

委員会の活動

ために郡内3町で連携し、足並みを揃えて啓発活動を行ってほしい旨の要望が出されました。

「まるしいたけ」事業

7月13日全員協議会開催

福本地内で進められているまるしいたけ事業は、平成30年6月22日、文書で運営会社の(株)シンケンから撤退の意思表示がなされました。理由は土地取得費・造成費が会社負担であること、収益の見込が厳しいためとのことです。

貸工場建設用地の地権者協議が整ったところでの突然の表明であり、町役場も地元も混乱されています。神河町の特産品として大きな期待と希望の「まるしいたけ」ですので、(株)シンケンの社長との面談で調整できるところは調整し、事業実施できるよう努めるとの説明がありました。

総務文教

5月22日開催

教育課

30年度は、越知谷小学校のエアコン整備、長谷小学校の洋式トイレ化とエアコン整備を予定。

学校を、業務改善の一環で8月13日～15日は盆休みとし、その間は教育委員会が対応する。

ふるさと自然体験（スキー・そり遊び）は、29年度は小学校全学年と中学2年生を対象に実施したが、30年度は小学1年生と4年生、中学2年生を対象に実施する。

Q 通学合宿がスキー実習に替わったが、自立を目的とした自然体験メニューの考え方は。

A 通学合宿は、自然学校に行く前年に実施するので、良い体験であるとの意見を聞いている。通学合宿で泊まることも準備が先生、保護者とも負担になっている。

教育委員会としては続けたいが、学校との兼ね合いで断念した。

情報センター

Q 31年度からケーブルテレビは指定管理者制度を導入するが、指定管理業務の範囲は。

A インターネットはIRU契約で民間になるが、それ以外は全て指定管理となる。

Q 全ての業務が指定管理になると、町職員の常駐はなくなるのか。

A 現在のところ、職員配置は考えていない。

税務課

Q 口座振替は50%に満たないが、進まない理由は何か。

A 原因を掴みづらい状況である。コンビニ収納の様子を見ながら今後の取組を検討していく。

窓口で直接納付される方へのアンケート調査の実施を提案した。

A 合併後、窓口対応をしてきたが、職員を減員する中で、コンビニ交付、コンビニ収納等の導入によって窓口サービスをさらに広げることに対応できると考えている。

Q 建築・土木工事の入札には最低制限価格を設けるが、設計監理業務には設けない。結果、400万円、500万円の予定価格に対して50万円で落札される事例が2回続いているが、この監理経費で可能であるのか。

A 現時点では、仕様書の内容を履行されているかをしっかりと点検するしかない。最低制限価格の設定の在り方が、今後の課題である。

会計課

30年4月末の現金等保管総額は56億4624万7200円。一時借入金現在高は12億円。

総務課

日曜窓口は、平成31年度から縮小しながら、32年度廃止を目処に進める。30年度は住民への周知期間とする。

Q 日曜窓口廃止の経緯は。

Q 長期総合計画の審議委員の選出区分に、障がい者団体がいないが、福祉団体は入れているが、この意見はしっかりと受け止めて進めていきたい。

A 障がい者団体がいないが、福祉団体は入れているが、この意見はしっかりと受け止めて進めていきたい。



通学合宿の様子

5月24日開催

公立神崎総合病院

平成29年度の入院患者数は約4万人で前年度に比べ約2000人減で、特に整形外科の減少が目立ちます。外来患者数は約11万人で前年度に比べ約5000人減っています。

仮決算で純損失が6900万円となりました。患者数の減少と電子カルテ導入や医療機器購入の影響が大きな要因です。4月から神崎郡医師会から委託を受け、病院内に「在宅医療・介護連携支援センター」を設置しました。郡内の在宅医療と介護サービス担当者の連携支援やケアマネージャーからの相談に対応する社会福祉士1人を配置しました。

Q 仮決算で6900万円
円の赤字であるが、経営分析や今後の見通しは。

A 北館改築後には病床を140床に減らすなど経費の節減を図る。院長指揮命令のもと、救急の受入に努力する。

引き続き医師確保を行うとともに、姫路市に建設予定の大規模病院や町内外の診療所等との連携を大切にし、収入の安定化を図っていく。

Q 院長が策定された「30年度の中期経営計画の柱と方針」を執行していくための職員への徹底方法は。

A 1月の職員会議において院長から方針発表があり、その後、所属長会議で再度説明し、各部署で具体的計画を立てる。次に院長以下執行部で面接調査し内容の確認を行う。上半期終了後には実施状況を確認する。

健康福祉課

各集落における生活支援協議体の推進状況は、設置に向けた説明会を健

康福祉課職員と業務委託している町社会福祉協議会の生活支援コーディネーター職員が進めており、現在10集落に協議体が設置されました。

障がい者施設整備の検討状況は、3月下旬に市川町の社会福祉法人「いづみ福祉会」から、神崎高校に隣接する町有地を借りてグループホームを建設したい旨の申し出があり、健康福祉課から要望したショートステイ機能についても開設1〜2年後に設置するとの回答がありました。政策調整会議等で協議し、町有地利用と建設については可と判断しました。6月5日に地元福本区に説明を行う予定です。

Q グループホーム建設予定地の埋蔵文化財の有無の調査は済んでいるのか。

A 埋蔵文化財がある場合でも、50〜60cmの盛土があれば問題がないといわれているが、基礎

工事の深さや調査方法を協議・検討したい。

Q 姫路市が平成32年度からケアステーションかんざきを離脱する予定とのことだが、その後の経営は成り立つのか。

A 姫路市の負担額は大きい。人件費や事業費を圧縮することは難しいので、事業の内容を精査して、郡内3町と情報交換し、財政協力いただける方向性を出していきたい。



ケアステーションかんざきの小児療育事業の様子

神河町の地域包括ケアシステムについて、現状がわかる概念図を作成するように要望しました。

中播北部行政事務組合の次期ごみ処理施設建設計画は、2月に3町の区長宛てに建設候補地を公募し、4月に開催された3町合同の公募要領説明会には神河町から14区の参加がありました。今後は7月に丹波市クリーンセンターを見学、9月に公募を締め切り、候補地選定委員会を立ち上げる予定です。

防災行政無線の不具合が多い地域に対しては、それぞれ対応方法を検証調査して、不具合の解消を図っていきます。

Q ごみ処理施設の先進地視察予定が7月20日とのことだが、視察後に区内で役員会や総会を開く考えの区もあると思う。スケジュール的に厳しいのではないかと。

A 視察前にできる準備等があれば対応するので、対処していただきます。

産業建設

5月17日開催
6月4日現地調査

建設課

町道水走り中河原線改良工事は本年度秋桜たうん南側の城山谷川付近、西側の町道付近までの予定。

用地交渉をなるべく早く進めていくとのこと。

町道作畑・新田線では用地測量（水谷以北）や物件調査を行い、さらに本年度は用地の分筆、買収を進めていく。辺地債の増枠も検討し、用地のまとまった箇所から路肩整備を行いたいとの報告がありました。

上下水道課

水道の老朽化対策では40年以上経過し補助対象となる老朽管や、ほかにも頻繁にパンクする管がある。補助対象の40年経過の老朽管13kmを10年間で更新したい。

下水道の統廃合では、大河内浄化センターへの繋ぎ込みについて関係区と交渉を行っている。地下水脈や災害時の流出等の問題があり、十分配慮しながら進めていきたいとのことでした。

地籍課

地籍事業については、計画どおり順調に進捗しています。

地域振興課

《商工観光係》

雨天時には、スキー場からかなりの濁水が小田原川に流れ込んでいる。センターハウス周辺に種子の吹き付けができればいいのだが、県立自然公園内の重要地区であるため、難しい。芝生を植えするなど検討をしている。また、夏場の賑わいづくりでは、7月初めから森の中に張ったワイヤーを滑車で滑り降りるジツプラインを設置する予定。

センターハウスの食堂もホテルと調整しながら営業したい、との報告です。

《農林業係》

振興作物のタマネギは、J・A兵庫西が産地化したなどの目的で取り組んでいる。アグリイノベーション神河（株）のニンニクも収益性が良く、気候条件も合っているので作付面積の拡大が期待できる。

道の駅「銀の馬車道・神河」では、「スペースが狭く、商品も少ない。混雑している。」などの苦情が続いている。農産物も露店での販売なので、冬期間は不調であった。野菜等の大量販売を前提にしているため、壁にぶつかっている。流通を研究しながら取り組みたいとのこと。

ひと・まち・みらい課

しんこうタウンは、年度当初7区画のうち、5区画が販売済み。完売後は、民間業者による町有地での賃貸住宅の建設、あるいは、空き家を活用するなど検討を重ねていきたい。

4月からコミュニティバスのフリー乗降エリアの拡大や時間帯の見直しをしたが、周知が不十分であった。また、手の挙げ方や他の意思表示の方法も含め協議検討する。以上の報告がありました。

《現地調査》

6月4日、町内諸施設の現地調査を行いました。まるしいたけ培養施設では、栽培方法や出荷前の管理等について説明を受けました。

道の駅では、販売場所・飲食場所とも狭さを感じました。

また、スキー場では、人工降雪機の管理、雨天時の濁水の流入対策につ

いて十分な検討が必要であることを再認識しました。

《県道長谷市川線改良促進議会連絡協議会》

6月29日、県道長谷市川線改良促進議会連絡協議会の現地調査及び総会が開催されました。

比延地内の歩道設置について用地買収及び一部工事の予定の説明を受けました。

姫路土木福崎事業所長によれば、平成32年度からの供用開始を目指したいとのこと。



現地調査の様子（比延地内）

みなさんの **声** を 町政に

一般質問 は、住民から重大な関心と期待を持たれるもので、議員が執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求め、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、町長に事前に質問内容を通告します。時間は質問、答弁合わせ1人1時間以内となっています。質問した議員それぞれが原稿を起こし、「議会だより」に掲載しています。(1人1ページ)

今回の登壇者は7人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
9	藤森 正晴 議員	①過疎再興への思いは ②ケーブルテレビ番組の編成を問う
10	栗原 廣哉 議員	①住民の安心・安全に対する具体的な取組は ②神河町の入札制度について ③除雪車の購入予算について
11	廣納 良幸 議員	①防災・減災対策について ②2次災害の防止を ③少子化・高齢者等対策の具体策は
12	小島 義次 議員	①教育環境の充実を ②空き家対策について ③長期総合計画について
13	吉岡 嘉宏 議員	①若者定住対策について ②コミュニティバスの改良を
14	三谷 克巳 議員	①人口減少に伴う集落運営について
15	松山 陽子 議員	①公共交通機関や移送サービスの在り方は ②町管理施設等のトイレ環境整備の取組状況は

議会の本会議は傍聴することができます。希望される方は、本会議当日に議場入り口の傍聴人受付簿に住所、氏名等を記入してください。なお、定員は先着順に30人までです。傍聴者が20人以上となる場合傍聴席の準備が必要となりますので、団体での傍聴を希望される場合は事前に事務局までご連絡ください。

本会議場での傍聴をお待ちしています。

Q

空き家活用で過疎からの再興を



藤森 正晴 議員

町長

空き家を地域の宝と捉え
取り組んでいく

A



越知川のあゆに魅かれた方が定住

定住を図り
過疎の町返上を！

Q 空き家を活用し、住宅を整備する定住促進空き家活用事業に期待をする。

A 長谷地区で3軒の空き家を整備し実施するが、他地域での思いはあるのか。

Q 町長 総務省の交付金を活用して実施するものであり、他地域については、その条件とする基幹的集落（学校・郵便局・小売店がある）の要件に該当するかが問題である。

Q 人口減少対策として、一般財源を使ってでも進めるべきではないか。
A 町長 長谷地区での実績を見て判断する。

Q 田畑の貸し出し等、神河町独自の魅力を打ち出してはどうか。
A 町長 農業委員会からも貸し出しの条件を緩和していただいております。相談があれば可能である。

Q まちかどウィークリーは、できるだけ多くの方の表情や状況を主に放映すべきではないか。
A 情報センター所長 皆様と情報を共有することによって一体感が芽生え、話題作りに繋がります。絆や愛着心に結びつくと思っております。多くの方を映像にと常に思っています。

ケーブルテレビ
番組編成に工夫を

Q 月初めの町長メッセージ放送の内容は、イベントや行事報告が多い。近況の行政状況を語るべきと思うが。
A 町長 行事は町民、地域の皆様が元気になるようお願いされています。お世話いただいた方へのお礼を込めて発信している。

Q 議会の放映に関しては公正・公平になされているのか。
A 情報センター所長 4分程の中で伝えなければいけない。全議員の放映は無理であるが、できる限り努めていきたい。

Q 新議員4人のみの当選インタビュー放映は、いかがなものか。
A 情報センター所長 特別扱いに感じられたなら反省する。公正・公平であることは当然であり今後心がけていく。

ひとこと

熱い汗と
知恵を 出そう



ケーブルテレビ番組編成の様子

Q

神河町の防犯等に対する意識は



栗原 廣哉 議員

町長

それぞれの立場での
役割の全うが必要

「共助」としては、健康福祉課と社会福祉協議会、地域が連携して「生活支援体制整備事業」を進めている。
「公助」としては、行政、警察、福崎防犯協会神河



設置が必要な防犯カメラ

Q 防犯等に対する具体的な取組みは。
A 町長 使える空き家は、積極的に活用できるように空き家バンクを推進していく。

Q 平成29年度の神河町内における事件は。
A 町長 犯罪件数は56件と様々な事件が発生している。

Q 事件を未然に防ぐためには。
A 町長 「自助」、「共助」、「公助」とそれぞれの立場での役割の全うが必要。
「自助」としては、不審な人が来たり、見かけたり、また不審な電話がかかってくれば、すぐに警察や役場、地域の人に連絡する。

支部、神崎保護区保護士会、神崎地区更生保護女性会、神崎郡消費生活中核センター等、それぞれにおいて、防犯の取組をしている。

Q 犯罪被害者の支援に関する条例の制定を。
A 総務課長 条例制定について前向きに考えていく。

Q 防犯カメラの設置を町が設置している防犯カメラの台数は。
A 住民生活課長 町独自では設置していません。

Q 防犯カメラは、犯罪の予防、認知症者の徘徊等に必要である。今後の設置はどのようにするのか。
A 町長 財政と協議しながら、方向を具体化していきたい。

Q 公平な入札制度に測量や設計・監理等の業務にも、最低制限価格が必要では。
A 総務課長 業務の中心を見ているながら、最低制限価格の導入について前向きに考えていく。

Q 発想の転換で、業者の車両で実施しては。
A 総務課長 町内業者の活性化は大切であるが、平時時は公用車、災害時はパトロール車両として使用するの、車両の購入は必要である。

Q 除雪車の購入予算1400万円は必要か。
A 町長 車両と除雪装置等の購入費で、1台700万円かかるので、2台で1400万円は適正である。

Q 除雪車の購入予算1400万円は必要か。
A 町長 車両と除雪装置等の購入費で、1台700万円かかるので、2台で1400万円は適正である。

ひとこと

初めての一般質問で緊張しました。

豪雨・暴風雨等の対策は！



廣納 良幸 議員

町長

被害を最小限度に収めるのは
行政の責任である！

県施工として河川の具体的取組として、根宇野区及び山田区で中上流域の護岸整備事業があります。また、砂防事業に

A 建設課長 県施工の治山工事として上小田区、治山堰堤の工事を新田区及び根宇野区で実施予定です。町施工の単独補助治山事業として川上区で工事発注しています。

A 町長 各団体と協議し、最新の情報を提供している。「町指定緊急避難場所の事前開設」を新たに始めました。各区においても公民館等を、自主避難場所として開設する事になっています。次に被害等が発生しても最小限に収まる様にする予防的な対応を行う事は大変重要であると考えますが、一方でインフラを含む社会基盤の安定的な政策については多額の財源を伴い、現実的には予防対応としては厳しいのが現実であります。

も顕著に取り組んでいた南小田区及び本村区の2箇所、4箇所が調整中、平成30年度に新規2箇所も予定と聞いています。県施工の急傾斜地崩壊対策事業についても、本村区が工事中であり、岩屋区が計画、鍛冶区においても測量等が進んでいます。また、河川の構造物等に基礎が浮いているとか、その他の報告をいただきますと、その都度、県の福崎事業所へ連絡し現地確認後、経過観察か応急工事等の対応をさせていただいているところです。財政的な制約もありますが、被害が最小限となるような取組を進めていきたいと考えます。

A 町長 お困り事は多様化し、特に通院・買い物・銀行等へ出かける際の交通手段は大きな問題となっている。コミュニティバスで今年度ノンステップバスを1台購入し、また、フリー乗降車区間の拡大やダイヤ改正等を実施し利便性の向上に努め、今後は、デマンドバス（予約制）の導入や養父市が実施している家用自動車タクシーについても、調査研究してまいります。

高齢者等お困り事の多い皆様のために過疎債で問題解消を！

A 地域振興課長 県有地のため緑化工事は国産（鳥取産）の野芝で施工したいと考えています。センターハウス前の張芝2900㎡を施工準備中です。

大雨によるスキー場からの濁流対策は！



導入された補導パトロール車

A 教育長 集団登下校を行い、教職員・PTA・地域の皆様の見守りによる安全確保ができていますと感謝しております。また、昨年度に3台の補導パトロール車を導入しており、登下校時の見守りや通学路の点検等に活用しています。放課後の安全、敷地内での安全確保は全小中学校及び幼稚園に設置している防犯カメラで安全確認しています。

園児・児童・生徒の登下校、放課後の安全対策は！

神河町教育環境の充実について



小島 義次 議員

教育長

子どもたちがいきいきと積極的に
学習に取り組めるよう努力していきたい

Q 本町の教育環境は整ってきている。子どももの減少による課題もあるが、今後の見通しは。
A 教育長 過疎債等の補助金を活用しながら子どもたちの教育環境をより良いものにしていきたい。

Q 学校のICT環境整備の財源として国は保障しているが、本町にはいくらか交付されるのか。
A 教育課長 7月以降に金額が確定される。現時点では分からないが、教育にかかる財源として活用したい。

Q 超高速インターネット、普通教室の無線LAN、電子黒板（大型提示装置）の整備状況はどうか。
A 教育課長 超高速インターネットは、光ケーブル化を学校においても導入し、従来の10Mbpsから1000Mbpsにする。無線LANは2020年度までに整

備を図る。電子黒板は、現在は各学校に1台は導入している。高価なものであるが、学級に1台の導入に向けて努力していきたい。

Q 統合型校務支援システムの導入に向けての将来展望はどうか。
A 教育課長 校務支援システムを導入している。学校の業務改善を図り、教師の負担軽減につながっている。統合型校務支援システムは、県が軸になって全ての業務をシステム化するもので、経費の問題もあるが、導入に向けて検討していきたい。

Q 神河町の空き家対策について
A 町長 空き家の数は、利用割合はどれほどか。また、どのような支援をしているか。
A 町長 空き家の数は、現在382件であり、空き家バンクの成約数は

累計で137件である。空き家活用支援で過去3年間で5件、利活用計画が8件ある。支援は、情報提供や「おかたづけ支援」として20万円の補助も設けている。

Q トラブルがあった時はどう対応しているか。
A 町長 町が所有者と利用者の間に入って調整、解決に向けた努力をしている。

Q 長期総合計画について
A 町長 過去の長期計画の検証結果を今後の計画にどう反映していくのか。
A 町長 今までの検証等を踏まえて、審議会等で将来展望を見据えて具体的な取組を進めていく。

Q 長期総合計画の中に「SDGs」の視点をどう取り入れるのか。
A 町長 「持続可能な開発のための2030

0アジェンダ」が国連総会で採択された。人が生き続けるための視点をしっかりと受け止め、取り組んでいきたい。

Q 若者の定住促進を進める上で、町の魅力ある施策の取組は。
A 町長 若者は高校、大学と成長していく中で都会への魅力が強くなる。町の魅力を感じてもらうために、神河町特有の優れた自然環境や史跡の歴史、風土、文化の調査などに触れ、「再発見」「再認識」を深めてもらい、定住促進につなげていきたい。

ひとこと

子どもたちが、将来も
神河町に住みたいと思える
教育環境を!

町内の若者遠距離通勤者に支援を



吉岡 嘉宏 議員

町長

対象者と支援内容、
財源対策を考える

- Q** 神河町に在住している40歳未満の遠距離通勤者(戸道30キロ以上)に一月5000円程度の支援金を交付できないか。
- A** 町長 H22年国勢調査から推測すると対象者は約500人、3000万円ぐらい財源が必要。対象者をU・I・Jターナー者に限定するなど制度内容の検討と財源確保についてこれから考える。
- Q** 神河町は少子化対策として保育料の軽減、乳幼児医療の高校生までの拡充などよくやっていると思うが、高卒以上の若者にとって神河町に残っていてよかったと思うような恩恵が必要と思う。朝来市が先行して実施しているが、我町も取り組むよう提言する。財源は過疎債でどうか。
- A** 町長 財政特命参事 過疎債は個人給付には使えない。朝来市の制度を検証し、来年度どうするか検討する。

コミュバスをもっと便利なものに

町長

デマンド交通(予約型バス等)の在り方を1年かけて検討する

- Q** 今年度に長期総合計画を策定されるので、住民アンケートも取られると思う。その中にこの制度についての項目を加えてほしい。
- A** 町長 総務課長 若者遠距離通勤者への支援について住民アンケートに入れるかどうかは審議会で検討する。
- Q** 高齢者の免許証返納後の交通手段はコミュニティバスを使われることが多くなると思われるが、デマンドバス(予約型バス)に改良し、車両は10人乗りのワゴン、バス停は使わず戸口から戸口までの送迎方式を検討してほしいがどうか。
- A** 町長 現在、生活支援協議体を町内10カ所作っている、その中で社協のワゴン車による遠隔地対象の買物サービスが月1回だが実施されていることが紹介された。こういった事例を参考に神河町に合ったデマンド交通の在り方を検討する一年としたい。
- Q** 神河町地域公共交通会議でデマンドバスの議論をされたことは。ひと・まち・みらい課長 2月にダイヤ改正の件で協議はしたが、デマンドバスの話はまだしたことはない。

ひとこと

若者支援と高齢者支援で
住んでよかった神河町に!

- Q** 長期総合計画策定に向けてデマンドバスの取扱いはどうなるのか。
- A** 町長 総務課長 現在社協で取り組まれているサービス以上のものを実施するために、何をクリアすればいいのかを粟栗市などの先進地を参考に調査し工夫する。どうしても導入できるのかという視点が大切。
- 長期総合計画に関しては審議員さんと協議し、具体化に向けて取り組みができたらいと考えている。

Q

人口減少下での集落の運営方法は



三谷 克巳 議員

町長 地域(自治)協議会が有効

Q 平成30年4月1日の住民基本台帳人口は、1万1560人。5月末は1万1536人で、24人減っている。人口ビジョンの推計どおり、年間に100人余り減っていくのが現実である。

神河町40集落で、世帯数が一番多い集落は334世帯、一番少ない集落は9世帯、人口が一番多い集落は943人、一番少ない集落は24人で、1対40の格差がある。高齢化率が、40%を超えた集落が17集落、うち限界集落と言われる50%を超えた集落が6集落ある。

この実態を見た時、集落単独での運営・取組が困難な集落も出てくると危惧している。

町運営の基礎は、集落であるから、この集落がしっかりと運営されていなければ、町の創生はない。

地域創生総合戦略等でも町の将来像、目標の実

現には、住民と行政がともに取り組んでいくことの必要性を謳っている。この地域の力となる住民の取組体制は集落単位で組織するものが大半である。

このような現状の中で、町運営の基礎である集落の運営を住民と行政がともに取り組んでいく方法を、どのように考えているか。

A 町長 集落の課題は、その集落で取り組むことは基本であるが、複数集落の共同体という形を模索するのは、時代の流れである。

政策課題に、地域(自治)協議会の設置を掲げている。

その足掛かり事業として集落支援員の配置がある。

集落支援員が地域の課題を明らかにし、地域住民や行政と一緒に課題解決にむけて行動するもので、各地域での取組につなげていきたい。

また、地域包括ケアシ



地域課題を取りまとめて報告する集落支援員

システムの生活支援協議体においても、ブロック協議体を設立されている。

一集落だけでは、解決できないことや連携が必要なことについては、地域(自治)協議会が有効であると認識しているの

で、地域のまちづくりの機運を醸成しながら、組織化に向けた取り組みを検討していきたい。

ひとこと

人口が減ってくると
いろんな問題が出てくるけど、
皆で頑張らなきゃ。

Q 地域(自治)協議会の立ちあげには、多くの情報を持ったリーダー、コーディネーターが必要である。

町内の実情を把握し、データ、知識を持っているのが町職員である。

町職員の関わりをどのように考えるか。

A 副町長 具体的な方法は持ち合わせていないが、適切な助言、アドバイスができる体制づくりには検討が必要である。

Q 利用しやすい公共交通機関のあり方は



松山 陽子 議員

町長

デマンド交通のあり方を
検討する1年としたい

Q コミュニティバスは、運転免許を持っておられない方・免許の更新を断念された方などの大切な移動手段であるが、29年度の利用客は前年度をさらに下回っている。将来を見据えた、全ての方が利用しやすい公共交通機関や移送サービス（デマンドバスの導入など）のあり方についての考えは。

A 町長 コミュニティバスの利便性を高めるため、フリー乗車を実施している区間で、4月からフリー降車も可能とした。また、本年度はノンステップ車両を購入する予定である。

予約型のデマンドバス若しくは乗り合いタクシーの導入については、デメリットもある。

町内全域で実施するのか、どういった運行方法が良いのか、車両の大きさや運賃体系、予約方法など神河町におけるデマンド交通のあり方を検討する1年としたい。

町管理施設のトイレ環境整備の取組は

町長

来年度からの予算化に向けて取り組んでいる

Q バス路線から遠く離れたところにお住まいの方や福祉的移送サービス希望者の早期対策を。

A 町長 できることがあれば、1年を待たずに積極的に進めていく。

Q 昨年9月議会で、「トイレの荷物置きや着替えをするフイッティングボード、大人のオムツ交換ができるベッドや人口肛門のストーマを洗浄するオストメイト機能等の整備」について質問をし、町長や担当課長からの答弁は「積極的に取り組みたい」との内容であったが、現在の取組状況は。

A 町長 9月以降に新築した道の駅「銀の馬車道・神河」及びスキー場「センターハウス」のトイレは、可能な範囲でユニバーサルデザイン（万人向け設計）の整備を行った。

既存の町管理施設全体のユニバーサルデザインについては、現在、整備計画の策定中であり、来年度からの予算化に向けて取り組んでいる。

A 住民生活課長 現在、障がいのある方、高齢者、また、赤ちゃんや幼児を連れのお母さんなどの利用度について調査中である。今後は、調査結果に基づき、関係課で集まり、どの施設にどんな整備が必要か、スペース面から設置可能かを精査し、整備計画の策定を進めていく。

Q 観光案内のホームページ等に、トイレのオストメイト機能などの整備情報を掲示する考えは。

A 町長 ホームページの「かみかわマップ」や「かみかわ観光ナビ」に情報提供をしていきたい。また、ペーパーでの観光マップ等の更新時にも明記していきたい。

ひとこと

利用する人の側に立つと
(立場が変わると) 気付くことが
多くあります。

オストメイト機能付トイレがある施設

【公共施設】

- ・神崎支庁舎 2カ所
- ・道の駅「銀の馬車道神河」 1カ所

*汚物を流す、手を洗う機能のみ

【民間施設】

- ・ウエルシア薬局
- ・マックスバリュ

*洗浄シャワーも設置

主な議会日程

8月

7日(火) 産業建設常任委員会

9日(木) 民生福祉常任委員会

17日(金) 総務文教常任委員会

20日(月) 公立神崎総合病院北館改築
事業調査特別委員会

30日(木) 議会運営委員会

9月

4日(火)～7日(金)

第86回定例会

(提案・質疑等)

11日(火) 総務文教常任委員会

(付託議案)

12日(水)～13日(木)

決算特別委員会

19日(水)～20日(木)

定例会(一般質問)

27日(水) 定例会最終日(採決)

※この日程は変更となる場合があります。

第85回
定例会

いっぱん質問

ケーブル
テレビ放映

再放送が行われます。ぜひご覧ください。

8月7日 (火)	① 藤森 正晴 議員	午後7時00分～
	② 栗原 廣哉 議員	午後8時00分～
8月8日 (水)	① 廣納 良幸 議員	午後7時00分～
	② 小島 義次 議員	午後8時00分～
8月9日 (木)	① 吉岡 嘉宏 議員	午後7時00分～
	② 三谷 克巳 議員	午後8時00分～
8月10日 (金)	① 松山 陽子 議員	午後7時00分～

このたびの西日本豪雨で被災された各地の皆様、また町内で床下浸水や土砂崩れ等、被災された皆様に対し心からお見舞い申し上げます。

平成30年7月 神河町議会

あ
と
が
き

紫陽花や

玉露うかべて

空青し



梅雨が終わると本格的な暑い夏がやってきました。

その暑さを先取りしたように、改選後初の6月議会で熱心な議論が行われました。一般質問も7人の議員が立ち、町政のあり方に意見を寄せました。新しい事業や条例の改正など町の課題解決に向けた取組が進められています。議会だよりも町民の皆様に、分かりやすく、読んでいただきやすい紙面にと、努力を続けてまいります。お気軽にご意見をお寄せください。

(Y・K)

広報公聴活動調査
特別委員会

委員長 吉岡 嘉宏
副委員長 小島 義次
委員 澤田 俊一
委員 藤原 裕和
委員 栗原 廣哉
委員 藤原 日順

